

Ⅰ 目指す学校

(1) 教育目標

児童一人一人が自立し、それぞれが幸福を追求し続ける力を育む。

【教育目標】

明るく健康な子	「七転び八起きの挑戦力」
よく考え進んで学ぶ子	「仲間とともに追求する力」
豊かな心と思いやりのある子	「自他を大切にする力」

(2) 目指す学校

【子供たちが未来を幸せに生きる力を育む学校 ～一人一人の良さに光を～】

本校の教育目標を実現するにあたり、「子供たちが未来を幸せに生きる力を育む学校」を目指す。

◎「子供たちが」子供を主語に

学校の主役は子供たちである。常に子供たちを主語にした学校経営を行う。

◎「未来を幸せに生きる力を育む」

教育目標を達成しようとするにあたり、常に未来に視点を置いて考える。また、「この教育活動はこの子の力になるか、その力は未来を幸せにする力か」を問い続ける。

児童も「今、楽しいか」という短期的な楽しさから「子供たち(皆)が幸せになるか」や「幸せな未来とは何か」「周囲の人や学年・学校全体、世界の人が幸せになる未来のためにどのような力が必要か」と友達や集団・世界、未来の幸せへ追求の対象を広げ・深化して考えられるようにしていく。

ア「子供たちが未来を幸せに生きる力を育む」ために

(ア) 一人一人の良さに光を

児童に関わる全ての人は、児童一人一人の良さに光をあてることを意識する。

「良さに光」とは・・・

○一人一人の児童の「良さ」を見付ける

人は「悪いところ」を探す方が得意である。「良さ」を探すのは意識・スキルが必要であるため、常に意識をして教育活動に臨む。

○一人一人の児童の「良さ」が出るように、さまざまな場面を設計する

全ての児童の「良さ」が発揮されるよう、学習活動や学校生活の様々な場面を意図的に設定する。児童理解を基盤とし、児童の声を引き出し、スキファールディングを行う。

なお、「良さ」が出る設計とは、失敗を避けさせることではなく、失敗から学ぶ経験も保障することである。

○見付けた児童の「良さ」を言語化し、本人・保護者や学級・学年集団に伝える

- ・自己肯定感・自己有用感の向上につながる。
- ・主体性・粘り強さ・対人関係の基盤となる。〈仲間とともに追求する力〉
- ・安全基地の形成により挑戦を促す。〈挑戦力〉
- ・注目された行動は繰り返される。(行動心理学)
- ・多様な価値の尊重や人権意識の育成につながる。〈自他を大切にする力〉

以上の取組を通して、「未来を幸せに生きる力」を育む。

(イ) 児童に関わる大人の「良さ」や「幸せに生きる姿」を児童に見せる

学校の教職員を中心に、保護者や地域の人々は、児童にとっての「未来の姿」となる存在である。

児童に関わる全ての大人は、児童のロールモデルとして一人一人の「良さ」を発揮する。

教職員は、自己の課題を自覚し、課題解決と自己実現に向け、他の教職員と協働し実践を重ねる姿、仕事を通して「幸せに生きる」姿を見せる。

2 中期的目標と方策

【目標】全学級で児童が自らの良さを自覚し、互いに認め合う学校文化の定着

(1) 良さの見取り・言語化・共有の定着

【方策】名簿等を活用した計画的な声かけ、学級・学年での共有

(2) 良さが発揮される授業・行事の設計

【方策】発言・役割・選択の機会の意図的設定

(3) 失敗を学びとして扱う風土を確立し、挑戦を促す環境整備

【方策】挑戦の価値付け、失敗の意味付け

(4) 児童に関わる大人と学校の高いエンゲージメントの形成

【方策】情報発信を多くするとともに、意見聴取にも努める。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 自覚的な「学びの構え」の育成(主体的に学ぶ児童の育成)

【目標】Q-Uテストにおける肯定評価、前年度比向上

【方策】予測・振返りの充実、自己決定場面の設定

イ 本質的な学力の向上

【目標】はちおうじっ子ミニマム習得率向上

【方策】基礎・基本定着のための校内研究の推進、意欲的に行うことのできる繰り返し学習の工夫

ウ 豊かな心の育成

【目標】いじめ重大事態ゼロを目指す

【方策】自他の「良さに光をあてる」教育。いじめ事案は3時間以内に管理職まで報告する体制を徹底。

エ 体力・運動能力の向上

【目標】体カテストにおける走力・柔軟性のスコアの向上

【方策】遊びを含む運動の推進。「できた!」を味わう授業づくり。健康についての意識付け。

オ 地域・保護者と連携した教育活動の展開

【目標】学校評価における肯定評価 80%以上

【方策】「NARAHARAサポーターズ」「NARAHARA スポーツ」など、地域・保護者と連携した教育活動が多く実施できている特色を大切に、引き続き推進していく。

カ 教職員のエンゲージメント向上

【目標】経営計画と教職員の思いとの重なりを生み、エンゲージメントの向上を図る

【方策】年3回の面談時に教職員の経営方針理解度を確認し、対話と説明により、相互理解を深める。

(2) 重点目標と方策

【重点目標】3(1)「イ 本質的な学力の向上」・「ウ 豊かな心の育成」

【方策】 「良さに光」を基盤とした授業改善・教育活動の推進